

①聴覚障害教育センターだより

令和4年12月

富山県立高岡聴覚総合支援学校



本校は、聴覚障害児教育の専門機関として「聴覚障害教育センター」を併設し、県西部にお住まいの赤ちゃんからお年寄りまで「きこえ」や「ことば」に関する相談に応じています。医療、福祉機関、各種教育機関、補聴器専門店などとの連携を密にし、活動を進めています。

お子さんの様子で、話し掛けても振り向かない、言葉が遅いなど、気になることがありましたら、ご相談ください。



県西部の聴覚障害児担当の先生方を対象とした研修会

令和4年度 「きこえ」と「ことば」の研修会を実施しました。

第1回 6月10日(金)

- ・第1回の内容は、授業参観と授業に関する質疑応答、聴覚障害教育の基本的な内容についての講義でした。また、補聴援助システムの機器を使用するときの留意点などについても、実例や実物などを提示してお話ししました。

<寄せられた感想>

- ・実際の授業や環境設定、様々な配慮がとても参考になりました。
- ・掲示物が分かりやすく、大変参考になりました。
- ・ロジャー（デジタルワイヤレス補聴援助システム）があれば聞こえると思っていましたが、正しく使えていなかったため、子供のために正しく使っていこうと思いました。

第2回 8月25日(木)

- ・前半は上越教育大学講師の坂口嘉菜先生をお招きし、『聴覚障害児の学習指導～「見方・考え方」を働かせる授業へ～』というテーマの講義を受講しました。後半は本校教員による演習『やさしい発音・発語指導』でした。



<寄せられた感想>

- ・坂口先生の話がとても聞きやすく、分かりやすかったです。大変参考になりました。
- ・演習では、発音指導の具体的な楽しい方法を学ぶことができ、明日から取り入れてやってみようと思いました。



話題の動画『なんちょうなんなん』

NHKのEテレで今年3月まで放送していた『ろうを生きる難聴を生きる』（現在は、『ハートネットTV』のなかで、“#ろうなん〜ろうを生きる難聴を生きる〜”として放送しています。）という番組で、2022年1月29日(土)に初回放送で紹介されました。

難聴の子を持つ親たちで作られた家族会「難聴の子を持つ家族会 そらいろ」が企画、クラウドファンディングで制作された2分53秒の動画です。難聴者が日常生活で聞き間違えやすい言葉や、困る場面、配慮の例などが、楽しい歌やアニメで紹介されています。去年(2021年)SNSで公開されると半年で1万回以上再生されたそうです。

かわいらしい画像を載せられないのは残念ですが、YouTubeで『なんちょうなんなん』で検索していただくと、すぐに見られます。難聴を理解する授業などの導入にも使えるのではないのでしょうか。



聴覚障害教育センターを併設しています。

幼児用聴力測定室。小さいお子さんも測定できます。



案内図



相談されたい方は、
まずお電話を！
平日9:00~17:00
(相談に費用はかかりません)

<交通アクセス>

高岡方面から 加越能バス砺波・庄川・城端方面乗車

砺波方面から 加越能バス高岡駅方面乗車

「北蔵新」バス停下車 徒歩5分

【問い合わせ先】 富山県立高岡聴覚総合支援学校
〒933-0824 高岡市西藤平蔵700番地
教育相談室（聴覚障害教育センター）担当 岩本
TEL 0766-63-6385 FAX 0766-63-5884
E-mail takaokachokaku@ed.pref.toyama.jp